

〔数値から見る具体的施策の展開〕

「5. 具体的施策の展開に関する点検結果」について、より具体的に把握するため、参考資料として数値の推移を示します。

(1) 国土の空間的特性、土地利用等に応じた施策

森林・林業

緑の回廊の設定箇所数が7箇所(平成14年度は4箇所)増加するなど、保護林同士を連結する生態的ネットワークの形成が図られました。

【緑の回廊登録数】

10箇所(約19.8万ha)(H13.4.1) 17箇所(約31万ha)(H15.4.1)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
国有林野等のうち保護林に指定された箇所数及び面積	H13.4.1	817箇所 (約54万ha)	H15.4.1	824箇所 (約62万ha)	7箇所 (約8万ha)
森林生態系保護地域の箇所数及び面積	H13.4.1	26箇所 (320千ha)	H15.4.1	27箇所 (390千ha)	1箇所 (70千ha)
森林生物遺伝資源保存林の箇所数及び面積	H13.4.1	12箇所 (36千ha)	H15.4.1	12箇所 (36千ha)	0
林木遺伝資源保存林の箇所数及び面積	H13.4.1	329箇所 (9千ha)	H15.4.1	329箇所 (9千ha)	0
植物群落保護林の箇所数及び面積	H13.4.1	354箇所 (126千ha)	H15.4.1	358箇所 (139千ha)	4箇所 (13千ha)
特定動物生息地保護林の箇所数及び面積	H13.4.1	31箇所 (16千ha)	H15.4.1	32箇所 (16千ha)	1箇所 (0ha)
特定地理等保護林の箇所数及び面積	H13.4.1	33箇所 (30千ha)	H15.4.1	34箇所 (30千ha)	1箇所 (0ha)
郷土の森の箇所数及び面積	H13.4.1	32箇所 (2千ha)	H15.4.1	32箇所 (2千ha)	0
全国の緑の回廊の箇所数及び面積	H13.4.1	10箇所 (約19万8千ha)	H15.4.1	17箇所 (約31万ha)	7箇所 (約11.2万ha)
レクリエーションの森の箇所数及び面積	H13.4.1	1,263箇所 (約41万ha)	H15.4.1	1,257箇所 (約41万ha)	6箇所 (0ha)

農地・農業

田園環境整備マスタープランの市町村策定率が7割弱となりました。

【田園環境整備マスタープラン策定市町村数】

1,191市町村(H14.3) 2,027市町村(H15.3)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
環境保全型農業に取り組んでいる農家の戸数と農家全体に対する割合	H12	50万2千戸 (約2割)	H12	50万2千戸 (約2割)	0
エコファーマーの数	H14.2	7,650名	H15.7末	31,380名	23,730名
「田園環境整備マスタープラン」策定市町村数()は全国対象市町村に対する割合	H14.3	1,191市町村 (39%)	H15.3	2,027市町村 (67%)	836市町村 (28%)
市民農園区画数	H14.3	144,312区画	H15.3	147,349区画 (見込み)	3,037区画
「田んぼの学校」登録数	H14.3	350件	H15.3	727件	377件
「田んぼの生きもの調査」調査箇所数	H14.3	1,098の農業水路、 ため池等	H15.3	2,548の農業水路、 ため池等	1,450

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
「農業農村環境情報整備調査」による調査対象47地区内のサイト数	H14.3	0 サイト	H15.3	150 サイト	150 サイト
中山間地域等直接支払い制度の交付面積	H14.3	632 千 ha	H15.3	655 千 ha	23 千 ha
中山間地域等直接支払い制度の協定数	H14.3	32,067	H15.3	33,376	1,309

都市・公園緑地・道路

緑の基本計画策定市町村数が約4割増加しました。生物多様性の確保につながる緑地の保全・創出について、総合的・計画的な取組が幅広く展開されています。

【緑の基本計画策定市町村数】

400 市町村(H13.3) 553 市町村(H15.3 末)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
緑の基本計画を策定した地方公共団体数	H13.3末	約400市町村	H15.3末	553市町村	約153市町村
人口50万人以上の大都市のうち緑の基本計画を策定した地方公共団体の割合	H13.3末	80%	H15.3末	93%	13%
住民一人あたりの都市公園等面積	H13.3末	8.1㎡	H15.3末	8.5㎡	0.4㎡
都市公園の整備箇所数及び面積	H13.3末	80,932箇所 (95,940ha)	H15.3末	84,994箇所 (100,968ha)	4,062箇所 (5,028ha)
首都圏の近郊緑地保全区域の面積	H13.3末	約15,693ha	H15.3末	約15,693ha	0
近畿圏の近郊緑地保全区域の面積	H13.3末	約81,212ha	H15.3末	約81,212ha	0
全国の緑地保全地区の指定箇所数及び面積	H13.3末	297地区 (約4,762ha)	H15.3末	321地区 (約5,093ha)	24地区 (331ha)
全国の歴史的風土保存区域の面積	H13.3末	約15,526ha	H15.3末	約15,526ha	0
全国の歴史的風土特別保存地区の指定箇所数及び面積	H13.3末	約8,323ha	H15.3末	56地区 (約8,323ha)	0
全国の風致地区の指定面積	H13.3末	約168,871ha	H14.3末	約168,943ha	約72ha
全国の市民緑地の指定箇所数及び面積	H13.3末	96地区 (約72ha)	H15.3末	97地区 (約66ha)	1地区 (約6ha)
全国の生産緑地地区の指定面積	H12.3末	約15,381ha	H14.3末	約15,189ha	192ha

河川

子どもの水辺の登録箇所が倍増しました。子どもを川へ誘う活動が進みつつあります。

【子どもの水辺登録箇所数】

45 箇所(H14.3) 133 箇所(H15.6)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
109の1級河川の人工河岸の割合		36%	H14.3	36%	0
「水辺の楽校プロジェクト」の登録地数	H14.1	213箇所	H15年度	220箇所	7箇所
全国の直轄管理の一級河川の環境基準の満足率	H14.1	83%	H15.3	85%	2%

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
湿地の再生面積	H14.1	0 ha	H15.3	0 ha	0 ha
「子どもの水辺」登録箇所数	H14.3	45箇所	H15.6	133箇所	88箇所
発電ガイドラインによる清流回復延長	H12.3	3,100km	H14.3	約3,500km	400km

港湾・海洋

干潟・藻場等を再生した面積が約1割増加しました。

【港湾のうち干潟・藻場等を再生した面積】

1,070ha (H14.3) 1,200ha(H15.3)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
全国の港湾のうち干潟・藻場等を再生した面積	H14.3	1,070ha	H15.3	1,200ha	130ha
全国の港湾のうち干潟・藻場等の保全・再生事業を実施した箇所数	H13.3	40箇所26港3湾	H14.3	51箇所28港3湾	11箇所2港
全国の港湾のうち干潟・藻場等の保全・再生事業を実施し、整備済みの箇所数	H13.3	19箇所	H14.3	24箇所	5箇所

漁業

保護増殖事業を実施している希少種の数が増加しました。イタセンパラ、シナイモツゴ等が新たに対象となっています。

【保護増殖事業を実施している希少種の数】

4種 (H13.3) 8種(H15.3)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
水産生物のうち希少種として採捕、所持、販売の制限・禁止を行った種数	H15.4	6種	H15.3	6種	0
保護水面の設定数	H12年度	120箇所	H15.3	120箇所	0
保護増殖事業を実施している希少種の数	平成12年度	4種	H15.3	8種	4種

自然環境保全地域・自然公園

都道府県における自然環境保全地域の指定箇所が6箇所増加しました。都道府県レベルの取組も進みつつあります。

【都道府県自然環境保全地域の指定箇所及び面積】

524 地域、73,739ha(H13.3) 530 地域、74,022ha(H15.3)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
原生自然環境保全地域の指定箇所数及び面積	H13.3	5地域 (5,631ha)	H15.3	5地域 (5,631ha)	0
自然環境保全地域の指定箇所数及び面積	H13.3	10地域 (21,593ha)	H15.3	10地域 (21,593ha)	0

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
都道府県自然環境保全地域の指定箇所数及び面積	H13,3	524地域 (73,739ha)	H15,3	530地域 (74,022ha)	6地域 (283ha)
国立公園の指定箇所数、指定面積及び国土面積に対する割合	H13,3	28公園 (2,051,179ha,5.4%)	H15,3	28公園 (2,058,095ha,5.5%)	0 (6,916ha,0.1%)
国定公園の指定箇所数、指定面積及び国土面積に対する割合	H13,3	55公園 (1,343,273ha,3.6%)	H15,3	55公園 (1,343,864ha,3.6%)	0 (591ha,0%)
都道府県立自然公園の指定箇所数、指定面積及び国土面積に対する割合	H13,3	307公園 (1,957,732ha,5.2%)	H15,3	308公園 (1,963,830ha,5.2%)	1公園 (6,098ha,0%)
都道府県立自然公園を指定している都道府県数	H13,3	45	H15,3	46	1
国立公園の指定面積のうち、特別地域に指定されている割合及び面積	H13,3	58.2% (1,192,185ha)	H15,3	58.1% (1,195,642ha)	0.1% (3,457ha)
国定公園の指定面積のうち、特別地域に指定されている割合及び面積	H13,3	88.1% (1,183,548ha)	H15,3	88.1% (1,184,159ha)	0% (611%)
国立公園の指定面積のうち、特別保護地区に指定されている割合及び面積	H13,3	13.1% (269,300ha)	H15,3	13.2% (272,131ha)	0.1% (2,831ha)
国定公園の指定面積のうち、特別保護地区に指定されている割合及び面積	H13,3	5.0% (66,490ha)	H15,3	4.9% (66,487ha)	0.1% (3ha)
国立公園の指定面積のうち、海中公園地区に指定されている地区数及び面積	H13,3	32地区 (1,164ha)	H15,3	33地区 (1,279ha)	1地区 (115ha)
国定公園の指定面積のうち、海中公園地区に指定されている地区数及び面積	H13,3	31地区 (1,385ha)	H15,3	31地区 (1,385ha)	0
都道府県立自然公園の指定面積のうち、特別地域に指定されている割合及び面積	H13,3	35.7% (699,635ha)	H15,3	35.9% (705,302ha)	0.2% (5,667ha)
国立公園の利用者数	H12年度	3億8千万人	H13年度	3億6800万人	1200万人
国定公園の利用者数	H12年度	2億9千万人	H13年度	2億6976万人	2024万人

(2)横断的施策

野生生物の保護と管理

国内希少野生動植物種を5指定しました。生物の保護に努めています。

【国内希少野生動植物種数】

57種(動物49種、植物8種)

62種(動物51種、植物11種)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
国内希少野生動植物種	H13,3	57種(動物49種、植物8種)	H15,3	62種(動物51種、植物11種)	5種(動物2種、植物3種)
国内希少野生動植物生息地等保護区面積	H13,3	7地区 (863ha)	H15,3	7地区 (863ha)	0
保護増殖事業計画	H13,3	21種	H15,3	21種	0
国設鳥獣保護区指定箇所数及び面積	H13,3	54箇所 (494,047ha)	H15,3	56箇所 (494,858ha)	2箇所 (811ha)
都道府県設鳥獣保護区指定箇所数及び面積	H13,3	3,829箇所 (3,084,866ha)	H15,3	3,871箇所 (3,114,783ha)	42箇所 (29,917ha)
狩猟鳥獣種数	H13,3	47種(鳥類29種、獣類18種)	H15,7	48種(鳥類28種、獣類20種)	1種(鳥類1種、獣類3種)

生物資源の持続的な利用

イネの塩基配列については、約半数の解読だったものが終了しました。

【イネの塩基配列解読】

48%(H13.12) 解読終了(H14.12)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
イネの塩基配列解読	H13,12末	48%(2億700万塩基対/4億3,000万塩基対)	H14.12	解読終了	(解読終了)
イネの有用遺伝子単離・機能解明		31個(遺伝子特許化)	H15,5末	46件(特許出願中のものを含)	15件
ヒトゲノム塩基配列解析	H13,2	6%	H15,4(精密解読終了時)	6%	(目標達成)
遺伝組換え農作物等の環境安全性確認数	H13,11	植物61件(15作物)	H15,6	植物71件(16作物)	植物10件(1作物)
「組換えDNA工業化指針」による安全性の確認申請数	H13,10	50社376件	H15,5まで	53社395件	3社19件

自然とのふれあい

全国水生生物調査の参加者が3,000人増え、過去最高となりました。身近な生き物に対する関心も高まっています。

【全国水生生物調査参加者数】

88,690人(H12年度) 91,649人(H14年度)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
自然解説指導者研修受講者数	H12年度	104人	H14年度	131人	27人
自然公園指導員数	H12年度	2,943人	H14年度	2,976人	33人
国立公園パークボランティア数	H12年度	1,953人	H14年度	1,692人	261人
長距離自然歩道整備距離	H12年度	2万km	H14までに	2万km	0
長距離自然歩道利用者数		3,900万人	H13	4,778万人	878万人
水生生物調査の参加者数	H12年度	88,690人	H14年度	91,649人	2,959人
水生生物調査の参加団体数	H12年度	2,487団体	H14年度	2,495団体	8団体
水生生物調査の調査地点数	H12年度	5,639地点	H14年度	5,141箇所	498箇所

(3)基盤的施策

教育・学習・普及啓発及び人材育成

環境カウンセラーの登録者数が約500人増え、3,000人を超えました。人材の育成が各地で進みつつあります。

【環境カウンセラー登録者数】

2,565名(H12年度) 3,097名(H14年度)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
「こどもエコクラブ事業」参加クラブ、参加者数	H12年度	約4,300クラブ 約75,000人	H14年度	約4,000クラブ 約77,500人	300クラブ 2,500人
環境カウンセラー登録者数	H13年度	2,565名(市民部門 941名、事業者部門 1,624名)	H14年度	3,097名(市民部 門1,285名、事 業部門1,994 名、両部門登録 者182名)	532名(市民 部門344名、 事業部門 370名)

国際的取組

ラムサール条約登録湿地として2地区が新たに登録され、わが国の登録湿地は13箇所となりました。

【ラムサール条約登録湿地数、面積】

11箇所(H13年度) 13箇所(H14年度)

数値の意味	戦略改定時	数値	点検時	点検時の数値	増減
ラムサール条約登録湿地	H14.3	11箇所 (83,725ha)	H15.3	13箇所 (84,089ha)	2箇所 (364ha)